

かがやく明日のために

# With You



Vol.82

編集：With You 編集委員  
発行：長野市男女共同  
参画センター

長野市男女共同参画情報紙「With You」は、男女共同参画社会づくりに向け、市民編集委員が取材・情報発信をしています。

令和7年度長野市男女共同参画優良事業者賞を受賞されたセラテックジャパン株式会社（製造業：ファインセラミックスの精密一貫加工）を取材しました。



授賞式で萩原市長から賞状と盾が贈られました

**令和7年度 長野市男女共同参画優良事業者ご紹介**

**セラテックジャパン株式会社様 受賞**

長野市では、市内に本社機能を持ち、市内事業所の従業員数300人以下の事業者で、男女共同参画の推進に積極的に取り組む事業者を優良事業者として表彰しています。

今回は本年度表彰を受けたセラテックジャパン株式会社 代表取締役社長の平林明さん、総務部長の松本鉄也さん、総務管理の松井由加利さん、サプリーダーの小林香菜さん、同じくサプリーダーの北村藍子さんの5名に取り組みや、働きやすさについてお話を伺いました。



代表取締役社長の平林さん  
人が主役の会社づくりを、これからも続けていきます

同社は2009年から、社員の声を起点とした働き方改革を進めています。「オピニオンサーベイ」を通じて対話を重ね、制度を段階的に整備することで、対象者の育児休暇取得率100%や、非正規雇用から正規雇用への転換制度など、性別を問わず働きやすい環境を実現してきました。

**「働きやすさにつながる制度が多くありますが、背景にある理念を教えてください。」**

**平林：**特別な理念が最初からあったというよりは、社員の声やニーズを聞きながら、「今、何ができるか」を一緒に考えて

きた結果だと思っています。会社は人がいなければ成り立ちません。だからこそ、社員一人ひとりを大切にし、必要だと感じたことを、その都度スピード感を持って形にしてみました。完璧ではありませんが、社員の声や社会の流れを踏まえながら、できることから取り組んできた、というのが正直なところです。



## 優良事業者選考理由

- 男女ともに育休取得率100%と、性別にかかわらず誰もが働きやすい環境を整備している
- 先進的で柔軟な取り組みや制度（リファラル採用、オピニオンサーベイなど）を取り入れ、従業員と共に会社を創っていく、という姿勢が顕著である。





総務部長の松本さん  
声を出しやすい職場づくりを心がけています

「男女問わず働きやすい環境や福利厚生は、どのように整えてきたのでしょうか。」

平林：大きな改革を一気に進めるのではなく、会社の体力を見ながら、背伸びしすぎないことを大切に、できることを少しずつ積み重ねてきました。

その一つが年間休日の見直しです。106日からスタートし、来年度は122日になる予定です。

松本：有給休暇については「取りましょう」ではなく、誰が休んでも仕事回る仕組みをつくることを大切にしてきました。

さらに男性の育休取得は、会社全体で理解し、協力して進める姿勢を打ち出しています。そうした積み重ねの結果、現在は対象者の育休取得率が100%になっています。



総務管理の松井さん  
立場に関係なく、意見を受け止めてもらえる職場です

「そのなかで、「オピニオンサーベイ」は大きな役割を担っていると伺っています。社内ではどのような制度として機能していますか。」

松本：社員の声をきちんと受け止めるための大切な仕組みです。福利厚生をはじめ、年間で200近い意見が寄せられますが、すべてをすぐに実現できるわけではありません。

だからこそ、できるものではないものを整理し、できない場合は「なぜ難しいのか」「将来的な可能性はあるのか」を含めて、必ず会社からフィードバックするようにしています。

そうしたやり取りを重ねながら、制度を少しずつブラッシュアップしてきました。

「社員の皆さんは、社内の制度や仕組みをどのように感じていますか。」

小林：オピニオンサーベイは意見に対して必ず会社から回答が返ってくる点が印象的です。実現できない内容についても、「なぜ今は難しいのか」をきちんと説明してもらえるので、納得感があります。さらに会社のそういう姿勢が、「大切にされているな」と感じられる理由になっています。

松井：私は派遣社員から正社員になったのですが、当時は正社



サブリーダーの小林さん  
従業員を1番に考えてくれている会社だと感じています

員という肩書きに少しプレッシャーを感じていました。しかし、立場に関係なく協力し合う雰囲気があり、「ここなら大丈夫かもしれない」と思えました。女性の意見も愚痴として流されることなく、きちんと受け止めてもらえる点は、他社では経験したことのない文化でした。

北村：組織の体制もしっかりしていますし、オピニオンサーベ

イもあるので、普段から声を上げやすいと感じています。現状には満足していますが、これぞ終わりというより、これからさらに良くなっていく会社だと思っています。

「ライフステージの変化に対するサポートについてはいかがですか。」

小林：産休・育休を2回利用しましたが、周囲の方が自然に協力してくれました。休みに入ることに後ろめたさを感じることはなく、気持ちよく次のステージに進めたのが印象に残っています。時短勤務も「制度がある」だけでなく、「使っていい空気」があるのが

ありがたいですね。

北村：私は、パートから正社員登用制度を利用しました。家庭の状況が変わる中で、将来を考えたときに、そうした選択肢があるのは心強かったです。

女性が多い職場なので、「こういう道もある」という実績が見えるのは、後に続く人にとって安心材料になると思います。

「今回の受賞を受けて、今後さらに力を入れていきたい点があれば教えてください。」

平林：男女共同参画という点では、まだ取り組みの途中です。サブリーダーの女性はいますが、女性登用という視点から言う地道半ばだと感じています。

製造業という業界特性もあり、女性の比率や、管理職に必要な経験の積み方など、簡単ではない課題も多くあります。

ただ、「難しい」で終わらせるのではなく、本人が望み、納得できる形で管理職を目指す道筋をつくるのが大切だと考えています。時間をかけながら、中小製造業の一つのロールモデル



サブリーダーの北村さん  
ライフステージが変わっても、働き続けられる会社です



働き方改革や制度づくりをいち早く取り入れ、積み重ねてきた数々の取り組み

ルとされるよう、これからも一つつつ取り組んでいきたいです。

## ●編集後記

平林社長はもちろん、社員の皆さんも同じ視座で会社について生き生きと語っている姿が印象的でした。人を大切にする姿勢が、日々の積み重ねとして男女共同参画の実現につながっていることを改めて実感する取材となりました。

(執筆…鳥羽彩加)

お問い合わせ

長野市男女共同参画センター

(指定管理者(協)長野シーアイ開発センター)

〒380-0814

長野市大字鶴賀西鶴賀町1481-1

勤労者女性会館しなのき 内

☎026-237-8303